

【NEWS RELEASE】

2024年7月1日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
 株式会社三井住友銀行
 三井住友カード株式会社
 日本電気株式会社

2025年日本国際博覧会に向けた大阪・関西万博独自電子マネー「ミyakペ！」および「ミyakミyak リワードプログラム」運営プラットフォームの提供開始について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO:中島 達、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）、傘下の株式会社三井住友銀行（頭取 CEO:福留 朗裕、以下「SMBC」）および三井住友カード株式会社（代表取締役社長:大西 幸彦、以下「SMCC」）、ならびに日本電気株式会社（取締役代表執行役社長兼 CEO:森田 隆之、以下「NEC」）は、2025年4月13日（日）～10月13日（月）に開催される「2025年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」）」に向けた、大阪・関西万博独自電子マネー「ミyakペ！」および「ミyakミyak リワードプログラム」の運営プラットフォームの提供を2024年7月1日より開始いたします。

1. 大阪・関西万博独自電子マネー「ミyakペ！」の提供開始

「ミyakペ！」^{*1}は万博会場の内外を問わず利用可能な大阪・関西万博独自の電子マネーです。会場内ではQRコード決済^{*2}に加え、「Visaのタッチ決済^{*3}」や「iD^{*4}」に対応した店舗で利用できます。さらに、会場外でも「Visaのタッチ決済」に対応した店舗や交通機関、「iD」に対応した店舗、Visaが利用できるECサイトにて万博の会期前からご利用いただける、便利で新しいキャッシュレス決済手段です。

また、万博会場内で「ミyakペ！」をご利用の方には「顔認証^{*5}」での決済サービス^{*6}を提供いたします。事前に顔情報と決済手段を登録することで、対象店舗ではスマートフォンやクレジットカードを使わず顔認証のみで決済が可能です。独自電子マネーが顔認証と紐づく事例としては国内最大規模^{*7}の取組であり、「ミyakペ！」を通じてみなさまに一足早く未来社会を体験していただきます。

コード決済	顔認証決済	Visaのタッチ決済 iD決済
	 <p>※顔認証決済は、会場内のみ対応</p>	 <p>※iD決済は、Apple Payのみ対応</p>

名称	「ミyakペ！」
種類	前払式支払手段（プリペイド型電子マネー）
チャージ方法	銀行口座 ^{※8} クレジットカード等 ミyakペ！ギフト ^{※9}
支払方法	Visa のタッチ決済 iD 決済（Apple Pay ^{※10} のみ対応） QR コード決済 顔認証決済 Visa の EC 決済
ご利用いただける店舗	「ミyakペ！」加盟店 全国の Visa のタッチ決済に対応している Visa 加盟店・交通機関 電子マネー「iD」加盟店 Visa の EC 加盟店

(※1) 「ミyakペ！」は、NEC の「応援経済圏構築プラットフォーム（デジタル地域通貨基盤）」をベースに構築を行います。

https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/sl/cheereconomy_platform/index.html

(※2) 「QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標・JIS、ISO 規格です。

(※3) 「Visa のタッチ決済」とは、専用端末に Visa のタッチ決済対応のカードやスマートフォンをかざすだけで支払いが完了する、非接触型の決済方法です。

(※4) 「iD」は株式会社NTTドコモの商標です。

(※5) 顔認証は、人間が普段相手を判別する手段をシステムで実現した最も身近な認証方式です。顔の目、鼻、口などの特徴点の位置や顔領域の位置や大きさをもとに照合を行います。なりすましが困難なためセキュアであり、物理的なカギを持ったり、パスワードを設定したりする必要がありません。設置されたカメラに顔をかざすだけで、本人認証を行うことができます。

NEC の顔認証は米国国立標準技術研究所（NIST）による顔認証ベンチマークテストでこれまでに No.1 を複数回獲得しています。（NIST による評価結果は米国政府による特定のシステム、製品、サービス、企業を推奨するものではありません）。

<https://jpn.nec.com/biometrics/face/history.html>

(※6) 顔認証による決済サービスについて

https://jpn.nec.com/press/202405/20240523_02.html

(※7) 本プレスリリース発表時点における、実装・運用段階の顔登録者数、顔決済利用店舗数（NEC 調べ）を基に記載しています。

(※8) Bank Pay と連携した金融機関の口座がご利用可能です。

(※9) 電子マネーギフトとして発行される 16 桁英数字をアプリに入力することで「ミyakペ！」のチャージが可能です。

(※10) 「Apple Pay」は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

2. 「ミyakumiyak リワードプログラム」の運営プラットフォームの提供開始

SMBC グループは、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会（以下「博覧会協会」）が「EXPO2025 デジタルウォレット」にて 2024 年 7 月 1 日より提供する「ミyakumiyak リワードプログラム」のプラットフォームを運営し、他の協賛金融機関のサービスや外部事業者と連携したさまざまな特典を提供いたします。特別感のある体験を通じてみなさまにより万博を楽しんでいただけるよう、今後も博覧会協会と連携し「ミyakumiyak リワードプログラム」の機能・特典のさらなる充実に努めてまいります。

■ 「ミyakumiyak リワードプログラム」とは

「ミyakumiyak ペ！」や「ミyakumiyak ポ！」（株式会社りそな銀行が提供するポイントサービスの愛称）を様々な場所で「つかう」・「ためる」ことにより利用者のステータスが向上し、ステータスに応じて「ミyakumiyak ーン！」（SBI ホールディングス株式会社が提供する万博独自 NFT の愛称）や大阪・関西万博関連のオリジナルサービス・特典等が獲得できるプログラムです。プログラムを通じて「EXPO2025 デジタルウォレットを使う楽しさ」を創出いたします。

■ 「ミyakumiyak リワードプログラム」におけるステータスアップについて

「ミyakumiyak リワードプログラム」にはスタンダード、ブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナ、ダイヤモンド、レジェンドの 7 段階のステータスを用意しております。「ミyakumiyak ペ！」へのチャージや「ミyakumiyak リワードプログラム」に設定されるさまざまなミッションをクリアすることでステータスが段階的にアップし、ステータスに応じた特典を獲得できる仕組みです。



SMBC グループは、2023 年度を初年度とする中期経営計画「Plan for Fulfilled Growth」において、新たに経営の柱の一つとして『社会的価値の創造：「幸せな成長」への貢献』を掲げ、さまざまな活動を進めております。日本におけるキャッシュレス比率は 39.3%^{*11} と、他の先進国に比べ遅れている状況です。SMBC グループでは「キャッシュレス化における社会的な課題^{*12}」の解決に向けた新たなキャッシュレスサービスとして、2023 年 3 月に「Olive^{*13}」をリリースいたしました。現在 230 万口座を超えるご利用をいただいております。日本のキャッシュレス化の推進に貢献しております。大阪・関西万博においても、未来型の新たなキャッシュレス決済の提供を通じて日本国内のキャッシュレス化推進に貢献し、幸せな未来社会の実現に取り組んでまいります。

NEC は価値提供モデル「BluStellar(ブルーステラ)※14」のもと、最先端テクノロジーによりビジネスモデルを変革し、社会課題とお客さまの経営課題を解決に導きます。大阪・関西万博においても、その中核技術の一つである世界トップクラスの生体認証技術を活用し、多様なパートナーとの共創を通じて安全・安心で確かな技術の社会実装に取り組んでまいります。

(※11) 経済産業省が2024年3月29日に公表した「2023年のキャッシュレス決済の比率を算出しました」における、算出結果概要よりデータ抜粋。

<https://www.meti.go.jp/press/2023/03/20240329006/20240329006.html>

(※12) 経済産業省が2023年3月に公表した「キャッシュレスの将来像に関する報告書」では「キャッシュレス化における社会的な課題」の一つとして「キャッシュレス決済のユーザビリティ」が挙げられています

<https://www.meti.go.jp/press/2022/03/20230320002/20230320002.html>

(※13) 複数の支払い方法を1つのカードで選択可能なキャッシュレス機能を搭載した総合金融サービス

<https://www.smbc.co.jp/kojin/olive/index.html>

(※14) **BluStellar**

「BluStellar(ブルーステラ)」は実績に裏打ちされた業種横断の先進的な知見と長年の開発・運用で研ぎ澄まされた NEC の最先端テクノロジーにより、ビジネスモデルの変革を実現し、社会課題とお客さまの経営課題を解決に導き、お客さまを未来へ導く価値創造モデルです。

【ご参考】

EXPO2025 デジタルウォレットサービスの紹介サイト

EXPO2025 デジタルウォレットの利用方法等を紹介したサイトが以下の通り開設されておりますので、ぜひご覧ください。なお、アプリダウンロードは2023年10月23日(月)より開始しております。

- ・アプリダウンロードのリンク

<App Store※15 URL>

<https://apps.apple.com/jp/app/id6450660947>

<Google Play※16 URL>

<https://play.google.com/store/apps/details?id=io.hashport.hashwallet>

- ・事業連携サービスの紹介サイト

<https://expo2025-wallet.com/>

- ・金融サービス【①ミyakペ！（電子マネー）、②ミyakポ！（ポイント）、③ミyakーン！（EXPO2025 デジタルウォレット NFT サイトの万博独自 NFT）の紹介サイト

<https://www.expo2025-dwfs.jp>

- ・「ミyakペ！」のサービス紹介サイト

<https://introduction.expo2025-myaku-pe.com/>

(※15) 「App Store」は、Apple Inc.の商標です。

(※16) 「Google Play」は、Google LLCの商標です。

以 上